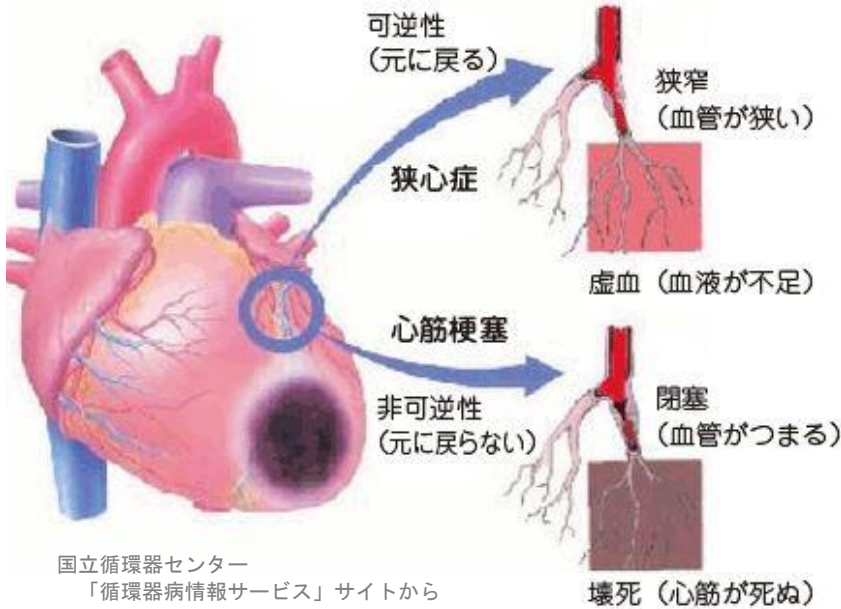


週刊 タバコの正体

狭心症と心筋梗塞の違い



タバコは血管を傷める事をくり返し伝えていますが、まだ続きがあります。今回は心臓の血管が傷んだ場合の病気を紹介します。

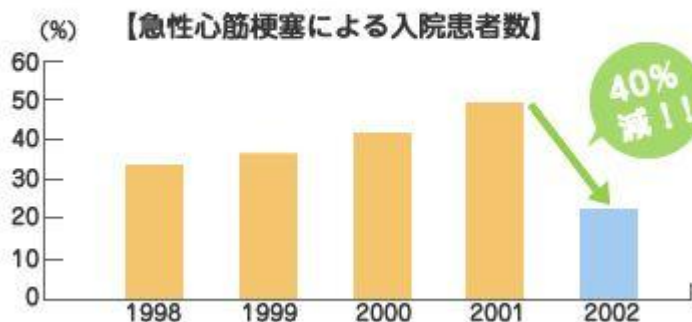
左図にあるように心臓には身体じゅうに血液を送り出す太さ2cmの大動脈をはじめとして、毎分60~80回も鼓動する心臓の筋肉(心筋)を動かし続けるための血管(冠状動脈)がたくさん存在します。この血管に異常があると命にかかわる大変なことになります。

血管が狭くなり血液が不足する場合(狭心症)と血管が詰まって心筋が死んでしまう場合(心筋梗塞)に分かれますが、左図のような激痛を伴う発作がおきます。全く前兆なく発作が起こることもある怖い病気です。

ところで、左下のグラフを見てください。公共の場で喫煙を禁止する条例を施行したら半年で急性心筋梗塞による入院患者が40%も減ったというのです。これは、アメリカのモンタナ州にあるヘレナという町で起こった実話です。タバコは心筋梗塞の大きな原因となっていることがわかります。

タバコを吸うたびに心臓にダメージを与えているのだと思うと怖くなります。だからやっぱり「それでもタバコを吸いますか?」と言いたくなりますよね。

●公共の場で喫煙を禁止する条例が施行後半年間で急性心筋梗塞の入院患者数が40%減!!



横浜市 HP「タバコの豆知識」サイトから

Sargent R.P. et al.: BMJ.328:977.2004